

シェフラー、電動モーター修理ツール「E-Axle Repair Tool」 により自動車部門サステナビリティ賞を受賞

- ドイツ・自動車技術専門誌を展開する ATZ/MTZ グループと、コンサルティング会社アーサー・ディー・リトルが主催する「モビリティコンセプト: ビジネスモデル」部門での受賞
- 交換から修理へ: 持続可能かつ経済的な電動モーターの修理
- サステナビリティ、コスト効率、技術的精度の融合
- 気候保護と循環型経済への具体的な貢献

2026 年 4 月 23 日 | Herzogenaurach / Yokohama

シェフラーは、ATZ/MTZ グループとアーサー・ディー・リトルが、SDGs(国連の持続可能な開発目標)に対して優れた貢献を示した企業を表彰する「サステナビリティ・アワード・イン・オートモーティブ 2026」を受賞しました。授賞式は 2026 年 5 月 19 日に開催されます。シェフラーグループは、新開発の電動モーター修理ツール「E-Axle Repair Tool」が高く評価され、「モビリティコンセプト: ビジネスモデル」部門で受賞しました。このツールは、電動モーターを全交換するのではなく、プロフェッショナルな修理を可能にするものです。サステナビリティ、コスト効率、技術的精度を兼ね備えたこのソリューションは、整備工場と車両オーナーに新たな選択肢を提供します。

シェフラー CEO の Klaus Rosenfeld は次のように述べています。「この重要な賞を受賞できたことを大変嬉しく思います。この賞は、気候に配慮した製品や革新的な修理ソリューションを通じて、持続可能なモーションの実現に向けた当社の取り組みが認められたものです。サーキュラーエコノミーの推進で中心的な役割を担うビークル・ライフタイム・ソリューションズの Jens Schüller とそのチームに感謝しています。」

新開発の専用ツール「E-Axle Repair Tool」は、多様な電動モーターに対応し、安全で、部品への負担を最小限に抑えた分解・組立を実現します。高剛性と高精度な機械構造により、密着したシールを損傷なく取り外し、繊細な部品に影響を与えることなくベアリングを圧入できます。最大 10,000 ニュートンの加圧力により、高負荷の修理工程にも対応可能です。このツールにより、E モビリティはより持続可能で経済的、そして修理しやすいものへと進化します。

このツールの大きな利点は、資源の節約にあります。電動モーターを修理することで、大量生産品の交換と比較して、カーボンフットプリントを大幅に削減できます。この革新的なソリューションは、気候保護と循環型経済への具体的な貢献につながります。

Schaeffler AG のビークル・ライフタイム・ソリューションズ CEO の Jens Schüler は次のように述べています。「私たちはサステナビリティを単なる付加価値ではなく、将来性のあるビジネスモデルに不可欠な要素として捉えています。E-Axle Repair Tool は、技術革新と測定可能な環境メリット、そして明確な経済的価値を結びつけるという当社の姿勢を示す製品です。これにより、E モビリティにおける修理性、循環性、そして長期的な持続可能性がさらに強化されます。」

シェフラーのビークル・ライフタイム・ソリューションズのポートフォリオを構成する「E-Axle Repair Tool」は、循環性と経済性を両立する修理中心のアフターマーケットビジネスを支えるソリューションです。

さらに、「E-Axle Repair Tool」は、拡大する E モビリティ市場において、整備工場に新たなビジネス機会を創出します。整備事業者が電動モーターの修理に特化できるよう支援するとともに、車両オーナーには、全交換に代わるコスト効率の高い選択肢として、魅力的なソリューションを提供します。

国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs) は、環境、社会、ガバナンスといった地球規模の重要課題に取り組むための指針です。「E-Axle Repair Tool」は、その中でも「SDGs 8: 働きがいも経済成長も」、「SDGs 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「SDGs 12: つくる責任つかう責任」、「SDGs 13: 気候変動に具体的な対策を」に貢献します。この製品を通じ、シェフラーは技術革新と測定可能な環境メリットを両立させる姿勢を明確にしています。

授賞式は、2026 年 5 月 19 日にフランクフルト・アム・マインで開催される第 20 回 国際 MT シンポジウム「未来のパワートレイン: 電動ドライブとエネルギーシステム」で行われます。



ローターとステーターの精密かつ非接触な分解・組立を可能にする「E-Axle Repair Tool」

写真: シェフラー

注)本プレスリリースは現地時間 2026 年 4 月 23 日付でドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハにおいて英語で発行されたものの日本語訳です。原文の英文と日本語訳の間で解釈に相違が生じた場合には英文が優先します。

将来の見通しに関する記述および予測

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する声明は、その性質上、多くのリスク、不確実性、および仮定を伴い、実際の結果や出来事がこれらの記述で表現または示唆されたものと大きく異なる可能性があります。これらのリスク、不確実性、および仮定は、ここで説明されている計画や出来事の結果および財務的な影響に悪影響を及ぼす可能性があります。新しい情報、将来の出来事、その他の理由により、将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負うものではありません。本プレスリリースの日付時点でのみ有効な将来の見通しに関する記述に過度の信頼を置かないでください。本プレスリリースに含まれる過去の傾向や出来事に関する記述は、そのような傾向や出来事が将来も継続することを示すものではありません。上記の注意事項は、シェフラーまたはその代理人が発行する後続の書面または口頭による将来の見通しに関する記述と関連して考慮されるべきものです。

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、80 年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティや CO₂削減効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイダンスシステムから修理および監視サービスに至るまで、8 つの製品ファミリーに分けて示しています。シェフラーは、約 11 万人の従業員と 55 か国に約 250 以上の拠点を持つ、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。